

## 「体験の風をおこそう運動推進事業（出店ブース）」

### 1. 趣旨

子ども達の健やかな成長にとって体験がいかに重要であるかを広く家庭や社会に伝え、社会全体で体験活動を推進する機運を高めるために、地域の社会教育団体と連携しながらブース出展し、体験活動の機会を提供する。

### 2. 事業の概要（期日と参加者）

	参加事業名	期日	参加人数	会場
1	花山鉄砲まつり	5月5日（金・祝）	546	御獄神社～旧花山中学校校庭
2	ばんだいフェスティバル春	5月7日（日）	374	国立磐梯青少年交流の家
3	宮城県志津川自然の家 オープンデー	7月17日（月・祝）	136	宮城県志津川自然の家
4	松島自然の家オープンデー	8月20日（土）	91	宮城県松島自然の家
5	2017 栗原市民まつり	8月26日（日）	779	イオンスーパーセンター栗原 志波姫店
6	みどりのキャンパス・ ふれあいフェスティバル	9月3日（日）	91	岩手県立県南青少年の家
7	第31回しろいし蔵王高原マ ラソン大会	9月10日（日）	1491	南蔵王野営場
8	平成29年度泉岳自然ふれあ い館オープンデー	9月24日（日）	396	オーエンス泉岳自然ふれあい 館
9	テンパークまつり2017	9月24日（日）	246	国立岩手山青少年交流の家
10	第30回花山湖秋まつり	10月8日（日）	352	花山青少年旅行村
11	蔵王自然の家フェスティバ ル2017	10月22日（日）	73	宮城県蔵王自然の家
12	なすかしの森 ファミリー フェスティバル	10月29日（日）	456	国立那須甲子青少年自然の家
13	神室フェスティバル	10月29日（日）	119	山形県神室少年自然の家
14	2017 薬師まつり	11月3日（金・祝）	186	築館地区商店街、杉薬師瑠璃 殿
15	第31回なかだの秋まつり	11月5日（日）	321	登米市役所中田庁舎
16	第3回栗原ハーフマラソン 大会	11月12日（日）	982	栗原市立若柳中学校前
17	花山新そば祭り	11月18日（土）	280	道の駅路田里はなやま（自然 暮の館）

### 3. 企画・運営のポイント

①東北の国公立青少年教育施設及び地域の社会教育施設・団体と連携してブース出展し、体験活動を提供することでイベントを盛り上げる一助となった。また、自然の家の利用や家族対象事業等

についての広報機会にもなった。

- ②缶バッジづくり体験を提供する際に、各イベントの内容に応じ、自然の家の公認キャラクター「リック」がプリントされたオリジナル台紙を作成したことで、参加者が記念として持ち帰ることができるようにした。また、白紙の台紙や塗り絵ができる台紙を準備することで幅広い年齢層が楽しめるよう工夫した。

#### 4. 各事業における缶バッジのデザイン及び実際の様子



各事業における缶バッジのデザイン



台紙と好きな色を自由に選択



世界にひとつだけのデザイン



自分の力で缶バッジづくり

#### 5. 成果と課題

##### (1) 成果

- ①平成28年度より引き続き、地域の関係機関・施設の協力が得られたことで、ブース出展の機会を17回設けることができ、約7000人の参加者に対して、体験活動の重要性並びに自然の家の利用について広報することができた。
- ②年中行事、イベントに積極的に参画していくことで、地域の関係機関・施設とのつながりをより一層深めることができた。それによって、今後の事業における連携を促進することができた。

##### (2) 課題

- ①今年度は缶バッジづくり体験を中心に提供したが、木の実クラフト、竹細工といったプログラムを希望する声もあることから、自然の家の特色を活かした体験活動の実施についても検討する必要がある。
- ②ブース出展が同日に重なることによる使用備品の重複を解消することで不要なトラブルを未然に防ぐことができる。また、職員体制の整備を行うため、事前の調整を密に行う必要がある。

担当：事業推進係 庄子 佳吾